

青年部 年間ニュース

ぶちアクティブ!

活動紙

建設山口青年部
(山口県建設労働組合)
〒753-0815 山口市維新公園2-1-10
電話 083-925-2277



青年部長 あいさつ

青年部長
田中満男

県青年部長を引受け3年目を迎えました。毎回同じような挨拶になるのですが、青年部の仲間、組合員みなさんの支えで続けることができ、感謝しています。

昨年は、今までで一番多く、県内外の行事に参加し、全国の仲間と交流しました。年々青年部の仲間の参加が増えていて改めて青年部活動の大切さを知りました。県青年部代表として

参加するからには、少しでも多くの仲間と交流し、良いところを持ち帰り、取り入れていこうと思っています。

今、僕ら青年部は基本組合の理解もあり、建設山口青年部は、もちろん、中国地協、全国青協とぶち仲良く、ぶち楽しく活動しています。仕事も忙しく、こういう組合活動にはなかなか参加しにくいかなと思います。少しでも興味のある方は是非一度参加してみてください。楽しい仲間が待っています。そして一人でも多くの仲間を増やし、建設山口と建設産業を盛り上げていきましょう。

改めて知る 青年部活動の大切さ

基本組合と青年部 実りある会議に



互いに活発な意見を出し合う

次世代対策 交流会 1/14

【山口・村上康伸(大工36)】1月14日建設山口本部会館にて、基本組合8人、青年部15人、計23人の参加で次世代対策交流会が開催されました。議題は「次世代対策について」ということ。2時間の会議でしたが、去年にも増した活発な意見交換ができた。実りある会議になりました。

建設山口青年部では、若い組合員の皆さんに活動を理解して頂くため、広報紙を発行しています。今回は、平成29年1月〜12月までの一年間の行事を、まとめて掲載しています。これを読んでみるみなさん、一度参加してみませんか?多くの仲間が待っています。詳細は入り支の支部までお問い合わせください。

で意見交換をしました。協議内容としては、「支部に若い人はいるが行事に出てこない」「遊びの中から仲良くなるのが大切」「青年部活動には基本組合の協力も必要」「後継者育成には自分自身の努力も必要」「出席率も重要」等の活発な意見がでました。

恒例 ボウリング大会 青年部の益々の発展を

県内 交流集会 1/15



未加入者・初参加者も一緒に交流を深める

【熊毛南・河野公彦(配管43)】1月15日、山口市「ボウリングの森」において11支部30人の参加のもと、ボウリングによる各支部代表の青年部による県内交流集会が開催されました。事前にランダムに決められたレーンで、はじまらしたの参加者やおなじみの参加者でスコアを競い合いました。

今回も豪華景品のマキタの18Vインパクトドライバーを目指して、真剣に投球する方や楽しみながら投球する方などレーンごとにおおいに盛り上がりました。ゲーム終了後、スコアトップをはじめ当日の部長の気分で決まる5位、7位などの順位が発表されました。私は全体の20位ながらこれに選出され、景品をかけたジャンケン大会に進むことができ、運も味方して見事に景品をゲットできました。おかげさまで日々の現場で大活躍しています。まだ青年部活動に参加されていない仲間も参加も願います。これから青年部活動が益々発展して行けば良いなと思います。

全国青協 定期大会 2/12~13

各分散会で 活発な意見交換



45県連・組合146人参加

日頃聞く事のできない他県連・組合の方の活動や意見を聞くことができ、充実した2日間を過ごすことができました。

【阿東・折口大介(内装40)】2月12、13日に全建総連全国青協定期大会が静岡県熱海市「ホテルニューアカオ」で45県連、146人の参加のもと開催され建設山口からは私を含め3人が参加しました。開会の挨拶の後、勝野書記長から中央情勢報告、奈良組織部長から組織部報告があり、その後5つの分散会に分かれて話し合いを行いました。分散会は組織・教宣に参加をし、その中で自分が辞めたあとの幹事のなり手がいない、若い組合員を知らないという意見が上がっていました。日頃聞く事のできない他県連・組合の方の活動や意見を聞くことができ、充実した2日間を過ごすことができました。

- 平成二十九年度 青年部幹事会
- 青年部長 田中 満男 (岩国)
 - 副部長 折口 大介 (阿東)
 - 北乗 誠 (吉南)
 - 幹事 城前 知弘 (宇部)
 - 上田 司 (岩国)
 - 守生 和正 (小野田)
 - 西林 祐哉 (下松)
 - 生田 真規 (熊毛南)
 - 山名進太郎 (下関)
 - 江本 光希 (徳山)
 - 竹田 義男 (豊浦)
 - 磯野 茂典 (長門)
 - 牧戸 義勝 (萩)
 - 河内 信宏 (光)
 - 藤林 賢悟 (防府)
 - 町田 裕介 (美祿)
 - 村上 康伸 (山口)
- 組合のなかに青年部があることを知っている青年層の組合員さんの割合はどのくらいだろうか? 少なくとも半分以下であることは間違いない。この「ぶちアクティブ!」を作るきっかけとなったのはそこにある。一人でも多くの方が青年部活動に興味を持ってもらえればと。
- いずれば、今の青年層の組合員さんが組合の担い手になる時がくる。その時に青年部で得た知識や経験が役立つはずだ。
- この活動紙を見て興味を持った青年層の皆さん、一緒に青年部活動に参加しよう。



万九千神社宮司の錦田氏の講演を受けて

中国地協 交流集会 6/11~12

「伝統文化の継承」 先人達の想いを受け継ぐ

【萩・牧戸義勝(配管工45)】6月11~12日、島根県出雲市「出雲ロイヤルホテル」において、5県連、組合51人の参加のもと中国地協青年部交流集会が行われました。

建設山口からは、部長をはじめ8名が参加しました。

1日目は全建総連全国青協総務の松葉氏より全国情勢と全国青年部の取り組み等の講義をいただき、続いて特別講演として万九千神社宮司の錦田剛士氏を

お迎えし講演していただきました。演題は「古代の出雲大社」巨大神殿の謎を紐解く」でした。講演を聞いただけでは、難しい話かと思いましたが会場全体がすぐに錦田氏の話術に引き込まれました。巨大神殿の謎を通して先人達が何を想い、何を大切にしようとして後世にどう継承していくか、そのことに真剣に向き合った結果があることがよくわかりました。

全国青年 技能競技大会 9/19~21

全国のレベルの高さを実感

出場資格は36歳まで

全国大会には35歳までしか出られないので残りの出られる回数を意識してまた挑戦したいと思います。

県予選でも若い人が少ずつ出てきているので気軽に挑戦してみたいと思います。



熱気と緊張感で会場内はピリピリムード

【美祿・町田裕介(大工31)】9月19~21日、愛知県名古屋市内にある名古屋国際会議場で第33回全国青年技能協議大会が36県連・組合80人の参加のもと開催されました。建設山口からは3人参加しました。

今回は全国大会出場選手だけ建設山口本部で全国大会事前練習を3回行い、各々の図面

の書き方や加工の仕方などの技を教え合い全国大会に向けて精進しました。

全国大会には3回目出場でしたが周りの選手から出る熱気と緊張感で会場内がピリピリしてきて普段の仕事では感じることの出来ない雰囲気を感じました。

結果は吹本君が去年に続き奨励賞でしたが3人とも入賞には届かず全国大会のレベルの高さを感じ知らされました。

全国大会には35歳までしか出られないので残りの出られる回数を意識してまた挑戦したいと思います。

県予選でも若い人が少ずつ出てきているので気軽に挑戦してみたいと思います。

後継者問題に 本気で取り組む

【豊浦・竹田義男(電工40)】4月30日、建設山口本部会館において15支部34人の参加のもと、第48回青年部定期大会が開催され、豊浦支部からも代議員2名が参加しました。

昨年度の運動報告および会計報告のあと、平成29年度の運動方針と要求予算が提案され真剣審議のもと満場一致で採択されました。

また、役員改選では田中部長をはじめ4名が再任され一致団結の元、定期大会は無事閉会しました。

全国的に問題となっている次世代対策。技術の継承と技術者の不足。そういった問題に本気で取り組む青年部の活動は決して小さいものではなく、近い将来大きな起爆剤となり得るものだと思います。

これからも、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

第48回 定期大会 4/30



今年も全員スーツで

致で採択されました。

また、役員改選では田中部長をはじめ4名が再任され一致団結の元、定期大会は無事閉会しました。

全国青協 交流集会 7/9~10

全国青協のうた

4番をつくらう

交流企画

【下松・西林祐哉(鉄工31)】7月9~10日、全建総連第24回全国青協交流集会が岐阜県岐阜市「グランドパレホテル駅前会議室」において、41県連・組合から154人の参加のもと開催され、建設山口から田中青年部長をはじめ総勢5人で参加しました。

1日目は、奈良組織による中央情報報告のあと、3組合から青年部活動の経験報告を受けました。続いての交流企画では、13班に分かれて「全国青協のうた4番を作らう」の課題に取り組みました。

2日目は、前

日作った「全国青協のうた4番」を発表。笑いあり共感ありの会議となりました。その後「長良川鶴飼ミュージアム」を見学し、全国の仲間と有意義な交流を深めました。

こうして全国の仲間と集い、いろいろなことを語り合いよりよい絆が深められたと思います。この経験を今後の活動に活かしていこうと思っています。

夏季研修会 7/29~30

防災センター学習 災害には冷静な対応を



大地震の揺れを身をもって体験

【岩国・田中満男(大工・44)】平成29年7月29~30日、いわくに消防防災センターで16支部31人の参加により青年部夏季研修会が開催されました。

1日目は「防災シミュレーション」で地震体験施設での体験学習

と消防庁訓練施設の見学を終了しました。

ここ最近各地で地震・豪雨災害が多く発生し、多くの被害が出ています。

今後、いつ起こるかわからないので、災害時に冷静に対応するために今回このような研修会にしました。

この防災学習館はどなたでも無料で体験できます。小さい子どもさんにも体験できる施設なので、ぜひ一度お越しください。

各支部 ミニ情報

道の駅 センザキッチン

【長門・磯野茂典(大工35)】長門市仙崎の青海鳥観光基地内にこの道の駅「センザキッチン」が10月7日にオープンしました。店舗は鉄筋コンクリート



平屋建て、延べ床面積は千五百平方メートル。農林水産物の直売所をメインに、鮮魚店、干物店、レストラン、パン屋などが入店。パーベキュー施設の「海小屋」も設けられています。センザキッチンに隣接する既存の土産品複合店舗「ショップ青海島」も大規模な改修工事が着工され、休憩所や情報発信施設にリニューアルされる予定です。来年4月には二つの施設を統合し、正式な道の駅として、グランドオープンする予定です。長門市に来られたら是非立ち寄ってみてください。

ファミリー 交流集会 11/5

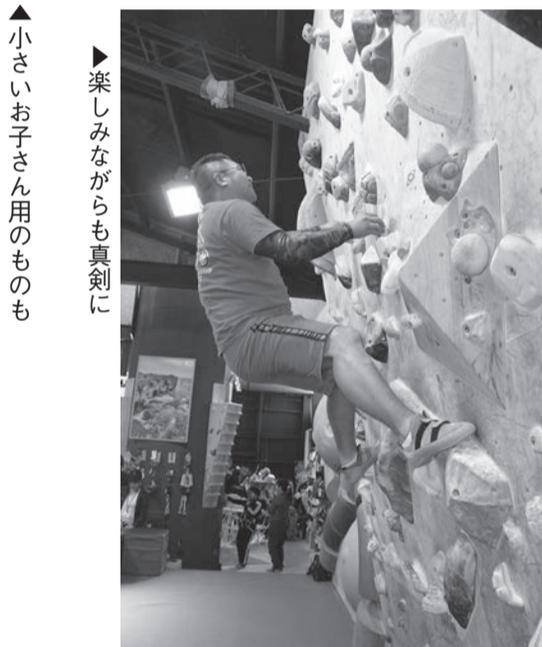
家族みんなでワクワク体験

ボルダリングジム「JAPAAAN」



大人・子ども合わせて68人参加

【光・河内信宏(大工32)】11月5日に光支部受け持ちのもと、青年部ファミリー交流集会が開催されました。今年光市に一昨年オープンしたボルダリングジム「JAPAAAN」にて、未加入者を含め、大人43人、子ども25人の参加で行われました。初めに田中青年部長、光支部長の近崎さん、組織部長の山田さん、河内信宏(大工32)から挨拶をいただき、そのあと2班に分かれてスタッフの方から壁の登り方の説明を受けました。説明のあとはフリータイムで、ほぼ全員がボルダリング初体験でしたが、子どもたちはもちろん、大人も難易度の高そうな壁に挑戦したりして、楽しそうに体験していました。光支部での開催は初



▶楽しみながらも真剣に

▲小さいお子さん用のものも

平成30年度の青年部の主な行事は下記の表のとおりです。私たちが取り組む環境は日々、変化していきますが、組合活動に参加することで新しい情報も入手することができます。

【仲間】は大きな財産です。興味を持たれた方がおられましたら、お入りの支部までお問い合わせください。たくさんの仲間がまっています。

一度ご参加ください

たくさんさんの仲間待っています

めでで、参加者のみなさんに喜んでもらえるか不安でしたが、体験中のみなさんの楽しそうな顔を見ると安心しました。たくさんのご参加ありがとうございました。

全国の青協幹部が集結 今後の活動に活かす

全国青協 幹部会議 11/12~13



35県連・組合86人参加

【宇部・城前知弘(大工39)】11月12~13日に第21回全国青協幹部会議が静岡県伊豆長岡の「ホテルサンバレー富士見」において35県連・組合86名の参加で開催されました。1日目は、古屋全国青協議長のあいさつ、森組織部長の中央情勢報告のあと、全体学習として「建設キャリアアップシステム(CCS)の特徴と期待される効果」を全建総連松岡の3分科会に別議論しました。

その後、「青年部」理解されていますか? 「後継者」建設業界に新しく人を迎えるには? 「スキルアップ」するための今すべきこと? 建設職人の未来様相?」の3分科会に別議論しました。

2日目は、1日目に続き分科会をし、各表題ごとに全体での報告をして閉会しました。学習会では「キャリアアップシステム」の内容をはじめ知り、青年部の若い人への県内での学習会も必要かと思われました。

今回も濃い話が他県連・組合の人たちとで、今後の組合活動に活かしていきたいです。

平成30年度の主な行事予定 (H30.4月~H31.3月)

◆詳細はお入りの支部までお問い合わせを◆

	県内関係	県外関係
4月	青年部定期大会	
5月	第1回幹事会	
6月		中国地協青年部交流集会
7月	夏季研修会、現寸図事前講習会	全国青協交流集会
8月	第1回青年部会、技能競技大会	
9月	第2回幹事会	全国青年技能競技大会
10月	ファミリー交流集会	
11月		全国青協幹部会議
12月		中国地協青年部幹部会議
1月	次世代対策交流会、県内交流集会	
2月		全国青協定期大会
3月	第2回部会、第3回幹事会	

毎年8月頃・ぜひ挑戦を



大工の原点。必ず得るものが...

毎年、建設山口では、技能競技大会を開催しています。

“うでだめし” 詳細は各支部へ

この競技大会は、全建総連が主催する全国青年技能競技大会の予選を兼ねて、毎年実施しているもので、競技課題は規矩術を駆使して作製する「四方転び踏み台（課題詳細図参照）」です。現寸図の作成からはじまり、木削り・墨付け・加工・組み立ての工程で、競技

時間は6時間です。技能の継承と後継者育成を図ることを目的に開催しており、建設山口は第1回から連続して全国大会に出場し、過去に何度も入賞するなど、輝かしい実績も残っています。全国で第1回大会から昨年の第33回大会まで連続出場している組

課題は「四方転び踏み台」です

大工魂の結集を

技能競技大会に

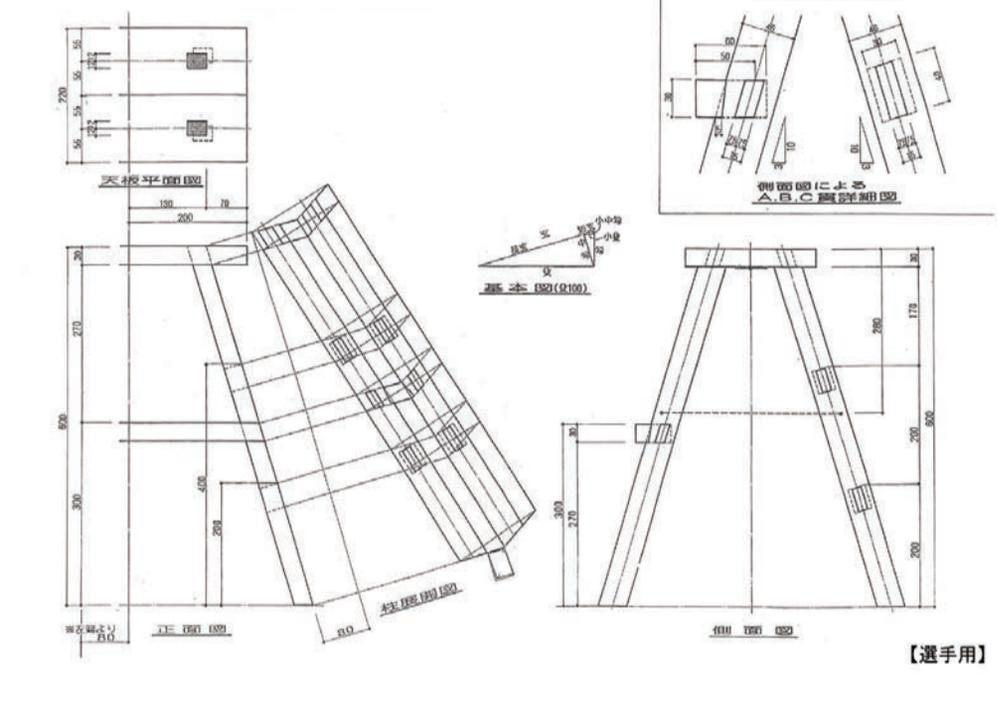
参加してみませんか？

合は、全建総連傘下53県連・組合のうち、建設埼玉、東京都連、島根建連、建設山口の4県連・組合しかありません。近年の建築現場では、プレカットが主流となるなど、現場で刻みや墨付けをする機会が激減してしまっ

たが、日本の伝統工法は私たち青年層が守り受け継いでいかなければなりません。その意味からも、この競技大会は大変重要なものと言えます。しかし、最近では出場者が減り、寂しい大会が続いています。大工の原点とも言える、こ

の競技課題。規矩術の極意は水平と垂直・勾配です。出場すれば、必ず得るものがあり、今後の仕事に必ず役立つこと間違いなしです。全国大会に出場できるのは、満36歳以下の方に限定されています。建設山口技能競技大会には、年齢制限はありません。今年こそ、多くの皆さんのチャレンジを待ちしています。活気あふれる大会になるよう、大工魂の結集を！詳細は、お入りの各支部へお問い合わせください。

全建総連第33回全国青年技能競技大会 課題詳細図



お問い合わせは本部・支部まで

楽しく技能習得 平成30年度 訓練生募集

- ◆募集対象 建築（大工）を職業として働いている方で、技能修得に意欲のある方。将来、技能士、2級・木造建築士の資格を希望する方。男女は問いません。原則として、雇用保険被保険者または、本人が「一人親方等の特別加入」の労災保険加入者。その他の方は、御相談ください。
- ◆訓練期間 2カ年
- ◆教室 山口本校（建設山口本部会館内）
- ◆訓練日程 月4～5回（平成30年度入校生は、毎週木曜日）
- ◆訓練時間 8：30～17：00
- ◆訓練課程 普通訓練課程
- ◆訓練科目 建築概論、建築生産概論、建築計画、建築構造、建築設備、工作法、規矩術、施工法、安全衛生、測量、機械電気、法規、仕様積算、建築製図、材料、基本実技
- ◆訓練講師 職業訓練指導員及び1級建築士
- ◆教科書 厚生労働省認定のもの
- ◆特典 (1)2カ年の訓練を修了し、技能照査に合格した者は2級技能検定（建築大工）の学科試験が免除。
(2)2級及び木造建築士受験の実務経験短縮（高卒の場合）
(3)授業料、教科書、教材無料
(4)交通費の一部と昼食支給（組合員が対象）
- ◆訓練科 木造建築科



- ◆入校を希望されます方は、「山口建設高等職業訓練校入校申込書」に必要事項を記入の上、毎年3月中旬までに所属支部を通じて提出してください。概ね、毎年4月下旬より訓練開始になります。
- ◆当訓練は厚生労働省の定めた一定の基準に沿って合理的かつ効果的に訓練を行っており、昭和50年4月1日に山口県知事より認定を受けています。